

平成30年度予算決定概要(安全部関連)

国土交通省 航空局 安全部
平成30年2月

安全部関連予算のポイント

◆航空保安対策の強化（ボディスキャナー等の先進的な保安検査機器の導入の推進）に要する予算
[**59.3億円**（前年度予算 18.7億円、+40.6億円（+317.5%））]

◆航空大学校の養成規模拡大（72人→108人）等に要する予算
[**24.7億円**（前年度予算 24.0億円、+0.7億円（+2.9%））]

◆操縦士の養成・確保対策、MRJ、小型航空機対策、無人航空機の安全対策等、航空の安全に要する予算
[**5.2億円**（前年度予算 5.2億円、+0.0億円（+0.7%））]

主な項目（括弧内は前年度予算）

○操縦士の養成・確保対策 92百万円（115百万円）
・防衛省出身操縦士の民間航空分野における活躍促進に関する調査
・類似型式航空機における効率的な訓練体系・乗務体系の確立に関する調査 等

○MRJ 111百万円（111百万円）
・国産旅客機の開発に伴う安全性審査

○小型航空機対策 52百万円（22百万円）
・飛行記録装置を搭載した実証実験 等

○無人航空機の安全対策 54百万円（85百万円）
・第三者上空を安全に飛行する技術等に関する評価手法の確立及び要件等の整理に係る調査
・無人航空機の飛行情報を関係者と共有できるシステムの構築
*システム開発経費はこのほか空港整備勘定において58百万円計上